



「現代女性とキャリア連携専攻」

2009年度 推薦図書リスト

①書名：女たちが変えるアメリカ (岩波新書 新赤版 22)

著者：ホーン川嶋瑤子著

発行：岩波書店, 1988年

所蔵：図書館目白, 図書館西生田 請求記号：367.253-Hor

福本俊先生(児童学科)の推薦のことば：実は、この書を手にするまでは、アメリカの女性たちは生き生きと社会に出て子育ても両立させながら暮らしているものとばかり思い込んでおりました。しかしアメリカの女性たちも、わが国に劣らず、偏見や差別の中にいること、それだからこそ、黙っていないで、自分たちが自ら暮らし易い社会の実現を目指して身近なところから変えて行っていることが実際のデータも交えて、判りやすい平易な文章によって説かれています。女性の目線で書かれている点が何より好ましく説得力があります。実は著者の川嶋さんとは小学校3年生以来の友人ですが、彼女の生き方も重なっている本書は、ますます推薦したくなる一書なのです。



②書名：フードファディズム：メディアに惑わされない食生活

著者：高橋久仁子著

発行：中央法規出版, 2007年 (1260円)

所蔵：図書館目白, 図書館西生田 請求記号：498.5-Tak

川澄俊之先生(食物学科)の推薦のことば：フードファディズムという言葉をご存知ですか？

マスメディアに氾濫する健康情報、忙しい日常に追われ、ないがしろにされる食生活。健全で適切な食生活は仕事や人生の大切な礎(いしずえ)です。著者は本学食物学科の卒業生で身近な話題をわかりやすい言葉で解説しています。



③書名：家族と住まない家：血縁から「暮らし縁」へ

著者：島村八重子, 寺田和代著

発行：春秋社, 2004年 (1785円)

所蔵：図書館目白, 通信 請求記号：365.3-Shi

篠原聡子先生(住居学科)の推薦のことば：普通の家族が必ずしも普通でなくなった昨今、誰と暮らすかは、選択的なことになりました。しかも、誰と暮らすかは、どんな人生を選択するか、ということでもあります。常識的な家族と住まいの関係を超えて、いろいろ

な住まいの可能性をみせてくれる本です。自分の現在と未来の生活のイメージをふくらませることができる本だと思います。

④書名：中国・シルクロードの女性と生活

著者：岩崎雅美(編)

発行：東方出版, 2004年 (2100円)

所蔵：図書館目白, 被服 請求番号：367.222-Chu

佐々井啓先生(被服学科)の推薦のことば：本書は最近話題になった中国の新疆ウイグル自治区での調査の内容を、家族、衣生活、食生活、住生活を取り上げて女性の視点から紹介し、日本人の生活との比較やジェンダーについて考察したものである。たくさんのカラー写真によって、現地の女性たちの生き方を身近に考えることができると思われる。



⑤書名：叢書・働くということ(第7巻)女性の働きかた

著者：武石恵美子編著

発行：ミネルヴァ書房, 2009年 (3675円)

所蔵：図書館目白, 家経 請求記号：366.38-Jos

首藤若菜先生(家政経済学科)の推薦の言葉：本書は、女性が働くということについて、その現状とこれまでの変化、そして企業や社会が、女性が働くことをどのように受け止めようとしているのかについて、統計データやケーススタディを用いて、実証的に明らかにしたものである。経済学、法学、社会学、経営学など多様な学問分野から検証されており、女性労働の実態を包括的に把握することができる。

⑥書名：性の歴史学 ―公娼制度・墮胎罪体制から売春防止法・優生保護法体制へ―

著者：藤目ゆき著

発行：不二出版，1997年（5040円）

所蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：367.9-Fuj

倉田宏子先生（日本文学科）の推薦の言葉：

近現代日本における性と生殖をめぐる国家的支配の構造と、それに対する抵抗や社会運動の歴史を明らかにした画期的な一書です。女性の自由な生き方を考えるうえで欠かせない問題に、ぜひ目を向けてみてください。



⑦書名：働くひとのためのキャリア・デザイン（PHP新書187）

著者：金井壽宏著

発行：PHP研究所，2002年（819円）

所蔵：図書館目白 請求記号：366.29-Kan

ソーントン不破直子先生（英文学科）の推薦の言葉：

筆者は「精神の健康のために、働くことと愛することのふたつが大切だ」というフロイトの言葉を引用しているように、キャリアを持つことは収入を得ること以外に幸福な人生を生きるためでもあるのだ、と言っている。人生の節目、節目で、どのように自分の将来像を描いたらいいかを実践的に教えてくれる本である。最初の大きな節目は、大学卒業後の最初の就職をいかに考えるかだろう。



⑧書名：奇跡の脳

著者：ジル・ボルト・テイラー著 竹内薫訳

発行：新潮社，2009年（1785円）

所蔵：図書館目白，図書館西生田（学生選書），史学

請求記号：493.73-Tay

近藤光博先生（史学科）の推薦のことば：たくさんのことが一つの物語として結晶化した、見事な一冊。脳卒中で左脳だけが停止してしまったジルは、どんな世界を体験し、またどのようにそこから帰還したのでしょうか。女性性、キャリア、家族愛、友情、病気、介護、さらには脳科学、至福体験、哲学、宗教まで、《人間存在》についての深い思索へと、私たちをすんなり導いてくれます。翻訳もとても行き届いていて、読みやすいですよ。

⑨書名：魅せられたる魂

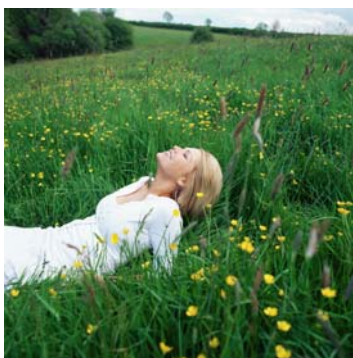
著者：ロマン・ロラン著 宮本正清訳

発行：岩波書店 他

所蔵：図書館目白，図書館西生田 請求記号：953-Rol-1～953-Rol-5 他

濱部勝先生（数物科学科）の推薦の言葉：

主人公の女性アンネットが苦悩しながらもたくましく人生や困難に立ち向かって成長していく姿を描いた長編小説である。私自身は大学2年生の時に10日ほどで一気にと読んで記憶している。生きるということはどんなことを考えさせられ、勇気を与えてくれる本だと思う。



⑩書名：おもしろ自然・動物保護講座

著者：小原秀雄著

発行：東洋書店，1995年（1713円）

所蔵：図書館目白 請求記号：519.8-Oba

金子堯子先生（物質生物科学科）の推薦のことば：

なぜ自然や動物を保護しなければならないのか。動物保護論の第一人者の解説を通じて、認識を新たにしてほしい。人類の未来を背負う若い女性、必読の書である。